

新型コロナウイルス感染症拡大への対応

2019年12月に発見されて以来、世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症。

オムロンは、顧客や取引先、当社社員とその家族をはじめとするすべてのステークホルダーの安全確保と感染拡大防止を最優先に、新型コロナウイルス感染症拡大によって生じる社会的課題解決に向けてさまざまな取り組みを行ってきました。

コロナ禍におけるオムロンの対応

1月

- 中国地域統括全社より、対象地域の社員に対して、感染防止対策を指示(21日～)
- 本社に「Aランク 緊急対策本部」を設置(27日) [P19 →](#)
- 中国全域への出張を規制(31日～)

2月

- 中国の全生産拠点の操業を停止(3日～12日)
* 大連市のヘルスケア事業の生産拠点は4日より一部操業再開
- 日本国内の社員に対して、感染拡大防止対策を指示(20日～)
- 本社にリスクランク最高レベルの「Sランク全社緊急対策本部」を設置(25日)

3月

- イタリアおよびヨーロッパの指定地域、韓国への出張禁止(1日～)
- イタリアのヘルスケア事業の生産拠点の操業を停止(9日)
- アメリカの制御機器事業の生産拠点2ヶ所の操業を停止(17日～4月7日)
- マレーシアの電子部品事業の生産拠点の操業を停止(18日～23日)
- イタリアの電子部品事業の生産拠点の操業を停止(23日～5月4日)

4月

- 日本政府による緊急事態宣言を受け、社員に原則在宅勤務を指示(8日～5月26日)

5月

- 日本政府の緊急事態宣言解除を受け、感染拡大の防止と社会経済活動を両立させていく新型コロナウイルス感染症と共存する「ウィズ・コロナ」モードに移行(26日)

新型コロナウイルス感染症拡大によって生じた

事業を通じた新型コロナウイルス感染症拡大への対応

新型コロナウイルス感染症が拡大する状況の中においても、オムロンは企業の社会的責任を果たすために感染防止や社会生活の維持に必要な商品、サービスの供給を継続してきました。

- 体温計・人工吸引器など、人々の健康を支えるヘルスケア機器の生産の維持や増産(中国、イタリアなど:2月～)
- マスクや検査キットなどの感染防止商品や食品、生活必需品などの社会生活を維持する商品を提供する顧客のモノづくり現場へのソリューション提供(中国、ドイツなど:2月～)
- 鉄道や交通など、人々の生活を支える輸送機関を運行する顧客への保守・メンテナンスサービスの提供(日本:2月～)
- コロナ禍で通院が難しくなった高血圧患者へのオンライン診療の提供による高血圧の継続治療の支援(日本、アメリカなど:5月～)
- 病院や公共施設への「紫外線光照射器ロボット」の提供による消毒作業時の感染拡大防止(フランス、イタリアなど10カ国以上:6月～)

社会貢献活動や社員のボランティア活動などを通じた新型コロナウイルス感染症拡大防止への貢献

オムロンは、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう各国での検温需要の高まりに応え、健康機器の寄付を行いました。また、オムロン社員はボランティア活動を通じて、逼迫する人工呼吸器開発などに参画しました。

- 日本や中国各地における体温計の寄付(2月～)
- スペインの人工呼吸器開発プロジェクトへのオムロン社員の参画(3月～)
- 各国での社員によるフェイスシールド作成ボランティアへの参画(4月～)
- アメリカのオムロン財団を通じた現地慈善団体への寄付(4月21日)
- 「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参加(5月18日)
- 非接触の皮膚赤外線体温計1万本を全国知事会に寄付(6月8日)
- 非接触の皮膚赤外線体温計500本を内閣府に寄付(7月3日)
- 株主優待制度を通じて785万円をIPS細胞研究基金に寄付(9月9日)

2020年5月26日からは、緊急事態宣言下での感染拡大の防止と事業継続を最優先した「緊急対策」モードから、感染拡大の防止と社会経済活動を両立させていく新型コロナウイルス感染症と共存する「ウィズコロナ」モードに移行しました。「ウィズコロナ」モードでは、これまで実施してきた予防対策などは継続しながら変革を進め、人々の価値観が大きく変わるニューノーマル時代に向けて顕在化する社会的課題の解決に全力で取り組んでいます。

社会的課題の解決の取り組み

ウィズコロナでも継続して診断と治療を受けられる遠隔診療サービスの開発



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高血圧患者は、移動中や病院内での感染リスクへの不安から通院をためらう人も多くなっています。

オムロンは、血圧計や心電計、体重体組成計などを用いて測定した家庭でのバイタルデータをタイムリーに医師と共有。自宅や医療機関などの場所を気にすることなく、医師の適切な診断と治療を受けられる遠隔診療サービスの開発に取り組んでいます。

スペインの人工呼吸器開発プロジェクトへのオムロン社員の参画



制御機器事業のヨーロッパ地域の社員3名は、自国スペインで感染が急拡大し、多くの人が亡くなっていくのを目の当たりにし、非営利団体の人工呼吸器開発プロジェクトに参画しました。

彼らが急ピッチで開発した人工呼吸器は、スペインの病院のみならず、新型コロナウイルスが猛威を振るう南米の各国で試験機の導入が進み、エクアドルには50台以上が寄贈されました。

ニューノーマル時代に向けて

オムロンは、コロナ禍を経て、人々の価値観が変わるニューノーマル時代において、今まで以上にニーズの高まる遠隔診療や、公共施設やモノづくり現場での3密を避けた生産ラインの確立などに応えてまいります。

各事業の取り組み

制御機器事業

モノづくり現場における3密を避けた生産ラインの確立や、製造業の活動の大原則である三現主義のデジタルトランスフォーメーション化に貢献するロボット統合コントローラーなど革新的な商品群の提供

[P33 →](#)

電子部品事業

非接触での検温システムや、スイッチに触れずに動く機器など、機器のスマート化のニーズへの対応

[P41 →](#)

社会システム事業

省力化、非接触化を実現するホテルなどの公共性が高い施設へのチェックイン端末納入などのサービスオートメーションの提供

[P45 →](#)

ヘルスケア事業

遠隔診療サービスの開発と、日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど各国でのサービス展開による普及

[P49 →](#)